

普及現地情報



発信年月日:令和4年(2022年)12月19日
所属名:湖東農産普及課
番号:F22010
部門分類:340(鳥獣害)
発信者名:籠、和田、鳥塚

獣害対策先進地研修会を開催しました

湖東地域広域鳥獣害防止対策検討会議では、11月16日に三重県伊賀市阿波地区市民センターにおいて管内の農家と関係機関合わせて30人(彦根市8人、愛荘町8人、甲良町2人、多賀町10人)が参加し、ニホンザル対策の現地研修を行いました。

視察した阿波地区は、平成12年ごろから野生鳥獣による農作物被害が目立つようになり、特にニホンザルの被害が増加していました。このため住民自治協議会が中心となり被害軽減につながる活動が進められました。この結果、成果を上げ、平成25年度に農林水産省の鳥獣被害対策優良活動表彰で農林水産大臣賞を受賞されています。

室内研修では、ニホンザルの生態に基づく被害防止対策の実践とその継続の重要性を学びました。

次に、伊賀市小延地区において、住民による「おじろ用心棒」防護柵の設置と集団での追い払いの継続で集落にサルが近づかなくなったほ場を見学しました。

また当地区では、獣害対策の責任者を一人に任せきりになっていましたが、責任者が病氣療養中となり現場を指揮できる指導者が不在となり、柵や柵周辺の雑草・木々の管理が不十分で、被害の発生が危惧されているとのことでした。効果の高い対策を継続して実施するためには、集落内において複数の指導者を育てるなど、人材育成の重要性についても学びました。

当課では引き続き湖東地域広域鳥獣害防止対策検討会議と連携し、広域鳥獣害対策活動を効率的、効果的に進められるよう支援し、農作物の被害軽減を進めていきます。



講義の様子



雑草管理の不十分な電気柵